

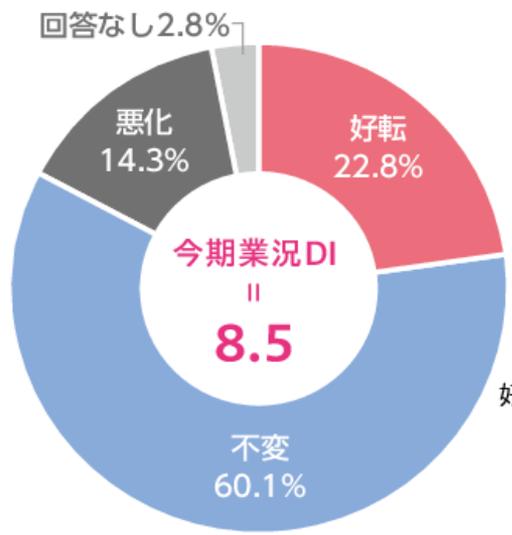
経済状況データ (DI) (2025年10月~12月期)

調査時期：2025年12月19日~1月9日
対象期間：2025年10月~12月期、及び
2026年1月~3月期見通し
調査対象：東京商工会議所世田谷支部
会員 (3,730社)
回収状況：合計434社 (回収率11.6%)

業況

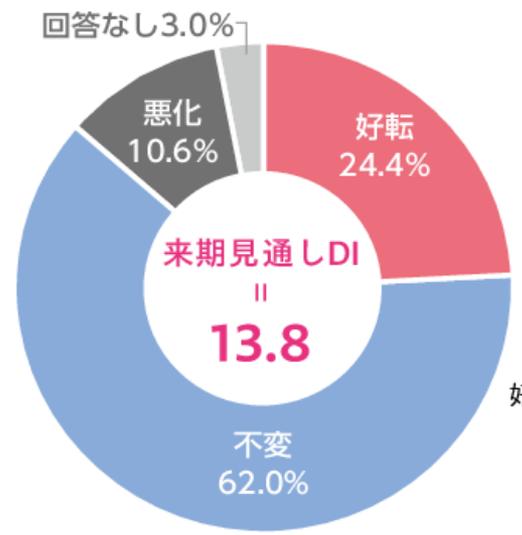
今期 (2025年10~12月期実績) の業況DIは、+8.5ポイントで前期から+3.1ポイント改善した。
来期の業況見通しDIは+13.8ポイントとなり、前回調査より+4.5ポイント改善する見通し。

今期の業況 (前期との比較)



DI 8.5 =
好転22.8% - 悪化14.3%
※前回調査 (5.4) から
3.1ポイント改善

来期の見通し (今期との比較)



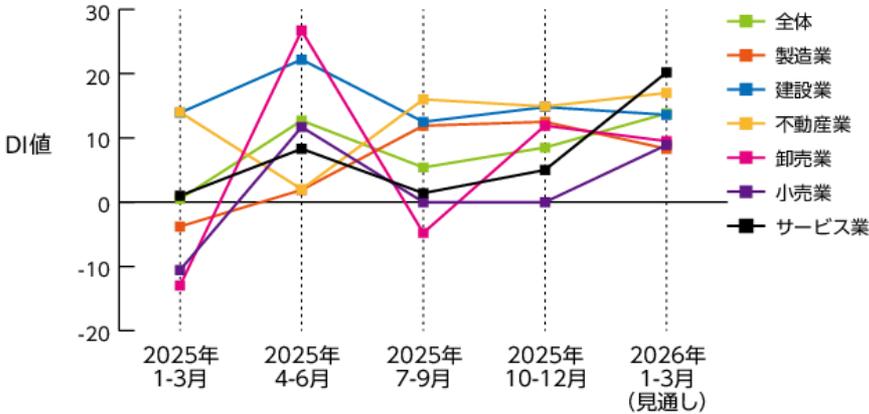
DI 13.8 =
好転24.4% - 悪化10.6%
※前回調査 (9.3) から
4.5ポイント改善

※DI (Diffusion Index) …DI(%) = 「良い」「増加」等企業割合 - 「悪い」「減少」等企業割合。各項目について、「増加」「好転」とする企業の割合から、「減少」「悪化」した企業の割合を差し引いた値。プラスは全体として「増加」「好転」したとする割合が多く、景気が上向きの傾向を示す。マイナスは景気低迷の傾向を示す。

経済状況データ (DI) (2025年10月~12月期)

業種別の
動向

今期の業種別DIは、悪化したのは「不動産業」+14.9(同▲1.1)のみであり、その他の5業種は改善した。大幅に改善したのは「卸売業」+11.9(前期比+16.7)で15ポイント以上の改善となった。来期は「サービス業」+20.2(当期比+15.2)、「小売業」+8.9(同+8.9)、「不動産業」+17.0(同+2.1)の3業種で増加する見通し。



全 体	0.5	12.7	5.4	8.5	13.8
製 造 業	▲3.8	1.9	11.9	12.5	8.3
建 設 業	13.9	22.2	12.5	14.8	13.6
不 動 産 業	14.0	2.0	16.0	14.9	17.0
卸 売 業	▲13.0	26.7	▲4.8	11.9	9.5
小 売 業	▲10.6	11.7	0.0	0.0	8.9
サ ー ビ ス 業	1.0	8.3	1.4	5.0	20.2

2025年1-3月 2025年4-6月 2025年7-9月 2025年10-12月 2026年1-3月(見通し)

経営上の問題点

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	175	40.3%	— 1	11	大企業(大型店)進出による競争激化	31	7.1%	↑ 13
2	人件費の増加	149	34.3%	— 2	12	生産設備の不足・老朽化	21	4.8%	↓ 11
3	人件費以外の経費の増加	134	30.9%	— 3	13	事業資金の借入難	19	4.4%	↓ 12
4	従業員の確保難	111	25.6%	— 4	14	在庫の不足	15	3.5%	↑ 16
5	購買ニーズの変化への対応	64	14.7%	↑ 6	15	在庫の過剰	11	2.5%	↑ 16
6	需要の停滞	47	10.8%	↑ 7	16	購買力の他地域への流出	10	2.3%	↑ 18
7	新規参入者の進出や同業者の増加	46	10.6%	↑ 10	16	代金回収の悪化	10	2.3%	↓ 15
8	金利負担の増加	42	9.7%	↑ 9	18	取引条件の悪化	5	1.2%	↓ 13
9	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	40	9.2%	↓ 8	19	生産設備の過剰	1	0.2%	— 19
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	40	9.2%	↓ 5					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。